

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション/理念

自然の恵みをエネルギーに、そして社会に。再生可能エネルギーを通して、地域に根ざした産業の発展と持続可能な社会の実現に貢献

設備容量
1,000万kW

資金確保目標
5,000億円/年

グリーンボンド発行
200億円

② 中長期の経営戦略

1. 国内水力発電事業基盤強化

経年水力発電所のリプレイス推進、スマート発電所実現、コーポレートPPA拡大、ハイブリッドダム事業への応札

3. 洋上風力発電事業拡大

長崎県西海市江島沖着床式開発、英国浮体式案件を通じた知見獲得と日本市場への活用

2. 海外再生可能エネルギー事業拡大

ベトナム・ジョージア・インドネシアの水力発電事業でバリューアップ推進、パイプライン案件開発

4. DX推進による業務革新

IoT・ドローン・AI活用で遠隔監視・自動制御実現、複数ダム群最適化運用、非常時対応削減

③ 対処すべき課題

① 脱炭素電源の拡大対応

- 国内電力需要中長期増加への脱炭素電源確保が経済成長の鍵
- 再生可能エネルギーの主力電源・長期安定電源化実現が急務

② 既設水力の高度化

- 自然環境変化と水系一貫制御における改善余地の解消
- ダム堆砂対策・O&M効率化によるコストダウン実現

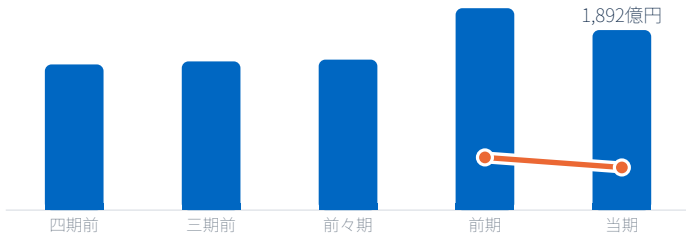
③ 人財・組織の充実

- 国内水力優先で新卒・高度専門人財確保に取り組む
- DXとカイゼンで業務変革し省力化と成長人財配置を両立

面接で使えるポイント

- 再生可能エネルギー拡大によるカーボンニュートラル実現が経済成長に直結する認識を持つ企業
- 水力1,000万kWの基盤から洋上風力・海外事業へ将来主力事業をシフト計画
- IoT・AI・ドローン融合で遠隔監視制御を実現し非常時対応を削減する業務革新推進中

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,892億円

営業利益率
23.7%

財務健康度
49点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 51.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）

平均年齢
－（未開示）

平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

